会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産 業 建 設 常 任 委 員 会		会 議 場 所 第 2 委 員 会 室 担 当 職 員 三 宅
日 時	平 成 2 3 年 9 月 2 0 日 (火 曜 日)		開 議 午 前 1 0 時 0 0 分 閉 議 午 前 1 1 時 5 3 分
出 席 委 員	◎西口 ○井上 福井 馬場 藤本 菱田 湊 小島		
出 席 理 事 者	湯浅経済部長、大西農政課長、堤農林整備課長、船越商工観光課長、奥村商工観光課参事 高屋まちづくり推進部長、柴田まちづくり推進部理事、古林都市計画課長、竹村道路河川課長、 橋本建築住宅課長、伊豆田都市整備課副課長（柴田都市整備課長欠席）		
出 席 事 務 局	三宅		
傍 聴 者	市 民 名	報 道 関 係 者 名	議 員 名

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

- 1 開 議 (西口委員長あいさつ)
- 2 日 程 説 明 (事務局)
- 3 議 案 審 査

第 1 号 議 案 平 成 2 3 年 度 亀 岡 市 一 般 会 計 補 正 予 算 (第 2 号) (説明～質疑)

[理事者入室] 経済部
 <経済部長あいさつ>
 <経済部担当課長、資料に基づき順次説明>

～ 1 0 : 1 5

[質疑]
 <馬場委員>
 特産品等振興経費の増について、PR経費はどこに委託しているのか。
 <農政課長>
 あぐりフェスタ実行委員会に業務委託している。
 <藤本委員>
 大河ドラマ誘致活動事業経費の増について、いつ頃の予定を目算としているのか。
 <商工観光課長>
 協議会の中で議論しているのは、縦貫道の完成などの大きな節目であり、平成26年を目途としている。24年度は平清盛、25年度は新島八重、その次については来年6月に公表されることとなっている。それに向けて取り組んでいこうとしているところである。

[理事者退室]

～ 1 0 : 1 8

[理事者入室] まちづくり推進部

<まちづくり推進部長あいさつ（職員不祥事について陳謝）>

<西口委員長>

職員不祥事については、当常任委員会から議長に対し綱紀粛正の申し入れを行い、議長から市長へ申し入れをしたところである。

報告第1号 専決処分の承認を求めることについて
損害賠償額の決定について
(説明～質疑)

<道路河川課長、資料に基づき説明>

事前にひび割れを把握しており、修繕の計画をしていた。台風2号の大雨の影響で路面のひび割れに水がはいり、交通量の多さからめくれあがったことが原因。修理費用40万円と代車費用42万円（1日2万円）で示談を成立した。

～10:33

[質疑]

<馬場委員>

①道路交通法で定められた車両の最低地上高に対応できるようしっかりとした体制づくりが必要ではないか。②他との連携などパトロール体制はどうなっているのか。③この路線は過去にも同様のことがあったと記憶している。基礎工事が重要であるが、工事技術はどうなっているのか。

<道路河川課長>

①同じ場所で同じ時間帯にもう1件、同様の事故があり、現在交渉中である。スピードが出やすい場所で、雨で視界も悪くノーブレーキであったため、車高の問題ではない。②パトロールについては、簡易アスファルトを積載して日々現場を点検し、対応しているが、今回の事故は、ひび割れについて穴を埋める処置もできないまま、雨で浮き上がってしまったものである。今後はそのようなことが生じないように努めていきたい。③平成15年以降、この路線ではこのような事故はないが、路線によってはひび割れしやすいところや水が入り込みやすいところもあり、経費がかかるが、今後対応していきたい。

<西口委員長>

パトロールの体制づくりについて、郵便局等との連携による体制強化の考えは。

<道路河川課長>

具体的に協定などはしていないが、今後、そのようなことを探していきたい。

<藤本委員>

この路線は速度40キロ規制であり、前方確認で回避できるように思われるが、過失割合はどうなっているのか。

<道路河川課長>

雨の降る夜間であり、回避できる状況ではなかった。過失割合は100:0である。

<井上副委員長>

①路面はいつ修理したのか。②代車は通常無償であると思われるが、代車の内容は。

<道路河川課長>

①路面の修理については、当日夜、通報を受けてすぐに現場に行き埋めて修理した。
②修理業者が客の車両を運転して事故にあったものであり、その会社のもつ代車の費用である。

<福井委員>

①保険契約の内容は。②修理見積もりの内容は。③保険料はいくら払っているのか。このようなことが重なっている中で保険料率はどうなっているのか。

<道路河川課長>

①保険契約は三井住友海上火災保険株式会社の保険であり、②③については後で報告する。

<福井委員>

20日間の期間については、当該車両が外車であったため、部品調達に日数がかかったためか。

<道路河川課長>

フロントバンパー、ヘッドライト、フェンダー、ホイールディスクなどの部品と塗装であり、44万円の見積もりであったが、全損時の対価が38万円であるため、中の40万円で示談したものであり、修理や手続き、示談までに要した日数と理解している。

～10:50

第1号議案 平成23年度亀岡市一般会計補正予算（第2号）

（説明～質疑）

<まちづくり推進部担当課長及び副課長、資料に基づき順次説明>

～11:00

[質疑]

<藤本委員>

都市計画決定業務経費の増に関連して、景観計画の進捗状況は。

<都市計画課長>

附帯決議を重く受け止め、現在、地元調整に入っている状況である。7月11日、中部自治会の役員会で今後のすすめ方について協議した。そこでは3町以外にも説明をするよう申し入れがあった。8月26日に中部ブロックの自治会長会で景観計画案の説明を行い、町単位での説明は現在のところ1町のみである。3町の会長に対しては現在調整しているところであり、中部ブロックの会長からは3町に対して行政の説明を聞くよう要請されており、説明の機会を持てるよう進めている。

<藤本委員>

景観計画案の意思が3町から他町へ広がっていく傾向はあるのか。

<都市計画課長>

申し出があれば聞かせていただくが、感触としては1町のみである。賛成か反対かを聞くよりも、計画内容そのものの理解を得るために説明をするスタンスで調整しているところである。

<井上副委員長>

コミュニティ助成事業の補助金について、街灯設置の要望は多くあるが補助を受けるための要件は。

<道路河川課長>

地域のコミュニティ活動の事業助成を目的としたものであることから、学校、公民館などの施設に行くための一定の連続性のあるところが対象である。

<湊委員>

耐震化促進事業費の増について、助成金を60万円から90万円に上げるのは、ど

のような基準によるのか。

<建築住宅課長>

全国的に耐震改修のみにかかる費用は木造1戸あたり平均120万円程度であり、従前はその2分の1を補助することとしていたが、今回はさらに30万円上乗せして4分の3まで補助しようとするものである。事前に耐震診断をすることが前提である。

～11:09

第10号議案 市道路線の認定について

(説明～質疑)

<道路河川課長、資料に基づき順次説明>

～11:11

[質疑]

<馬場委員>

自由ヶ丘1号線は傾斜度がきつく見通しが悪いが、認定の基準と対策は。

<道路河川課長>

当該箇所は今回の路線ではなく、従来から市道の部分である。今回の路線はそれほどの勾配はない。地元で地権の整理をされたので、市としても市道として管理をしていこうとするものである。

<了>

～11:15

[休憩]

4 討論～採決

11:25

[討論 なし]

[採決]

報告第1号 挙手 全員 承認

第1号議案 挙手 全員 可決

第10号議案 挙手 全員 可決

<西口委員長>

指摘要望事項があればご意見を。

<馬場委員>

市道の事故について多くの質疑がでたので、市道の維持管理について、万全な体制をとりたいことを指摘要望事項としてはどうか。

<西口委員長>

これを指摘要望事項として、委員長報告の作成については正副委員長に一任願う。

<全員了>

5 決算特別委員会

<事務局説明>

(1) 日程(案)について

- ・産業建設分科会 平成23年9月21日(水)・22日(木)
26日(月)
- ・全体会 9月21日(水)・27日(火)
28日(水)

6 その他

- ・議会報告会、議会だよりの委員会報告内容について

<事務局説明>

<藤本委員>

景観計画については理解不足があるので、わかりやすくまとめてみてはどうか。

<馬場委員>

景観計画のことよりも今回の付託議案について審議した内容のほうがよい。例えば「安全安心の道路行政」として、今回の補正予算の中であった水路改修や防犯灯のことなど具体的な内容がよい。

<福井委員>

防災の観点から、木造住宅の耐震改修の助成金を上げることの意図を掲載するのがよいのでは。

<西口委員長>

景観計画の進捗状況については月例委員会で行政報告を受け、議論を交わしてから報告するようにしてはどうか。

<井上副委員長>

意思決定のしかたについて、重要な問題であるので、ぜひそのようにお願いしたい。

<藤本委員>

月例委員会で深めてから報告していく方向です。安全安心の道路行政、防犯灯の増設、大河ドラマの誘致、木造住宅の耐震改修などの中から絞りこんでみてはどうか。

<菱田委員>

「安全安心のまちづくりに向けて」として、防犯灯設置、耐震改修の助成金増額を掲載してはどうか。

<西口委員長>

「安全安心のまちづくりに向けて」として、関連する補正予算内容をまとめていきたい。正副委員長に一任いただき、次回の委員会で確認願いたい。

<了>

- ・月例開催について

<各委員 日程調整>

次回の月例開催日：11月14日（月）10：00

<西口委員長>

内容については、まちづくり推進部から景観計画の地元説明の状況報告及び道路網見直しの概要説明について行政報告の申し入れがあり、また、前回の委員会において、議会報告会で出された意見のうち、大雨による農地被害等の復旧補助の基準の見直しについて本委員会で調査することとなっているが、その2件でよいか。

<了>

散会 ～11：53